

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	障害児保育				
担当者氏名	岩佐 昌英				
授業方法	講義	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・春期

《授業の概要》

「障害児保育」で学んだ障がいや障がい児保育の基礎的な知識・理解をもとに、障がい児保育の実際を様々な側面から支援内容・方法等について学習する。障がい児保育にとって特に必要な関係機関との連携について学習する。グループワークでの討議や発表や障がい児保育への関心・意欲を大事にする。障がい児保育に関する学術論文や時事的話題を通じて、自ら考え調べる(研究する)初歩的な姿勢を養う。

《授業の到達目標》

障がい児保育の実際を様々な側面からの支援内容や方法について理解する。障がい児保育における関係機関との連携の重要性とその方法と支援内容を理解する。障がい児保育に関わる話題(時事的話題や論文)やグループワークを通じて、自ら考え調べる(研究する)姿勢を養う。

《成績評価の方法》

提出物(「テキスト(シート)」「振り返り(シート)」「ミニレポート」): 20%、授業への関心・意欲: 20%、討議への参加・発表: 20%、試験: 40%

《テキスト》

なし。(毎時、「テキスト(シート)」「振り返り(シート)」「論文・時事的話題」等を配付する)

《参考図書》

随時、連絡または配付する。

《授業時間外学習》

授業で配付した「テキスト(シート)」に授業内容を整理し、後日提出する。授業後、「振り返り(シート)」を持ち帰り、その日の授業内容を振り返り(まとめ)、次回提出する。ミニレポートを提出する(複数回)。

《備考》

毎時配付するシートは、提出(成績評価の対象)。その中の「メモ・質問欄」への記入は、成績評価(授業への関心・意欲)の対象。欠席者は、配付物を受け取り指示を受ける。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーションと『障がい』について	シラバスの説明(授業の概要、授業の到達目標、履修上の連絡や注意等)と障がい児保育に関する時事的話題について考える。
2	障がい児保育の実際 気になる子ども	「気になる子ども」への気づきの大切さとその対応について考える。
3	障がい児保育の実際 個別の支援計画・指導計画	個別の支援計画・指導計画の意義と内容、構成について事例を通して考える。
4	障がい児保育の実際(アセスメント) 概論	アセスメントの意義と内容、支援プロセスの概要について考える。
5	障がい児保育の実際(アセスメント) 心理検査	乳幼児期に適応可能な心理検査とその活用について考える。
6	障がい児保育の実際(アセスメント) 行動観察	行動観察や場面分析による子ども理解と支援について考える。
7	障がい児保育の実際(アセスメント) 相談面接	障がい児の保護者との相談面接について、事例を通して考える。
8	障がい児保育の実際 摂食指導	食べる機能(摂食・嚥下)の評価や発声の指導について実習を通して考える。
9	障がい児保育の実際 医療的ケア	医療的ケアの歴史や現在の制度、内容について考える。
10	障がい児保育の実際 子どもや保護者同士の理解	健常児の障がい理解や保護者間の理解と協力への支援について考える。
11	関係機関との連携 関係機関や他職種の概要	大阪府下を中心にした障がい児保育における関係機関の連携や職種間連携を、事例をもとに考える。
12	関係機関との連携 就学支援	小学校等への就学(移行、接続)支援について考える。
13	関係機関との連携 園内の支援体制	園内の障がい支援体制等について考える。
14	学術論文及び時事的話題について	障がい児保育に関する論文や時事的話題をまとめ、自分の考えを発表する。
15	まとめ・振り返り	今までに作成した資料を基にしながら、学習したことを振り返る。